

MIC Ministry of Internal Affairs

令和 5 年 1 月 23 日 消 防 庁

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件(案)等に対する意見公募の結果及び改正告示の公布

消防庁は、消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件(案)等の内容について、令和4年11月10日から令和4年12月9日までの間、国民の皆様から広く意見を公募したところ、2件の御意見がございました。この結果を踏まえて、本日、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件」等を公布しましたのでお知らせします。

1 主な改正内容

令和4年9月14日に、「消防法施行規則の一部を改正する省令(令和4年総務省令第62号)」 及び「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一 部を改正する件(令和4年消防庁告示第5号)」が公布され、全域放出方式の二酸化炭素を消火剤 とする不活性ガス消火設備について、設置及び維持に関する技術上の基準並びにそれに係る点検 基準が追加されたことを踏まえ、「消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式」及び「消 防用設備等試験結果報告書の様式」について所要の規定の整備を行うものです。概要については、 別紙2を御覧ください。

2 意見公募の結果

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件(案)等の内容について、令和4年11月10日から令和4年12月9日までの間、意見を公募したところ、2件の御意見がございました。

いただいた御意見及び総務省の考え方は、別紙1のとおりです。

3 改正告示の公布

消防庁では、意見公募の結果を踏まえて検討し、以下の改正告示を令和5年1月23日に公布しました。

- ・消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件(令和5年消防庁告示第1号)<u>別紙3</u>
- ・消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件(令和5年消防庁告示第2号)<u>別</u> 紙4





(事務連絡先)

消防庁予防課 米田課長補佐、恩村 TEL 03-5253-7523 (直通) MAIL yobo@soumu.go.jp 【消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件(案)等に対して提出された御意見及び御意見 に対する考え方】

番号	御意見の概要	御意見に対する考え方	提出意見を踏 まえた案の修 正の有無
No.1	標識の場所と表示を書かない方が良いと思います。	消防法施行規則の一部を改正する省令(令和4年総務省令第 62 号)による改正後の消防法施行規則第 19 条第5項第 19 号イ(ホ)においては、標識の設置場所と表示内容の両方を定めております。 設置場所と表示内容の両方が適切であることを確実に確認して頂くために、試験結果報告書の様式についても標識の場所と表示で記入欄を分けていることから、原案通りとします。	無
	1. 消防法施行規則の一部を改正する省令(令和4年 総務省令第62号。以下「改正省令」という。)により 追加された基準の中に、「点検時にとるべき措置を 定めた関係図書の備付け」という記載があるため、 点検票の様式の中に「図書の備付け」の確認欄を設 けるべきではないか。	1. ご指摘の「図書の備付け」は点検基準上「制御盤の予備品等」 に含まれるものと整理しており、点検票上も同様となることから、 原案通りとします。なお、点検要領の「制御盤の予備品等」の項 目の「判定方法」に工事、整備及び点検時においてとるべき措置 の具体的内容及び手順を定めた図書が備えてあることといった 文言を加える予定です。	無
No.2	2. 起動用ガス容器の設置に係る改正省令の経過措置の対象か否かを区別するため、施工年月を記載する欄を設けるべきではないか。	2. 消防本部において個々の防火対象物の設置年月日は把握して おり、経過措置の対象か否かを点検票で把握できなくても支障は ないことから、原案通りとします。	
	3. 改正省令により追加された基準は二酸化炭素消火設備にのみ該当するものがほとんどであり、令和4年11月24日付け消防予第573号により通知されたガイドラインを踏まえても、二酸化炭素消火設備は	3. 二酸化炭素消火設備はその他の不活性ガス消火設備とは異なる基準を設けている部分もありますが、その他の不活性ガス消火設備と共通する基準も多く、共通の様式を使用していても特段支障はないことから、原案通りとします。	

他の不活性ガス消火設備とは全く別の設備として捉えた方が適切ではないか。

以上のことから、不活性ガス消火設備の様式から切り離し、新たに二酸化炭素消火設備の様式を制定するべきではないか。

【新日本コーポレーション株式会社】

○意見提出者数:2件

- ※1 提出意見数は、意見提出者数としています。
- ※2 とりまとめの都合上、いただいた御意見は要約し、類似する意見をとりまとめる等の整理をしております。

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の 様式の一部を改正する件(案)及び消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を 改正する件(案)について

> 令 和 5 年 1 月 消 防 庁 予 防 課

【概要】

令和4年9月14日に、「消防法施行規則の一部を改正する省令(令和4年総務省令第62号。以下「改正省令」という。)」及び「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件(令和4年消防庁告示第5号。以下「改正告示」という。)」が公布され、全域放出方式の二酸化炭素を消火剤とする不活性ガス消火設備(以下「二酸化炭素消火設備」という。)について、設置及び維持に関する技術上の基準並びにそれに係る点検基準が追加されたことを踏まえ、「消防用設備等試験結果報告書の様式」及び「消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式」について所要の規定の整備を行う。

1. 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式 の一部を改正する件(案)について

【改正内容】

改正告示により、二酸化炭素消火設備の点検基準に標識、AND 回路制御機能及び緊急停止装置の点検項目が追加されたことや、閉止弁の点検項目が外見と機能に細分化されたことを踏まえ、「消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式」に、これらの点検結果の記載欄を追加する。

【施行期日】令和5年4月1日

2. 消防用設備等試験結果報告書の様式の一部を改正する件(案)について

【改正内容】

改正省令により、二酸化炭素消火設備の設置及び維持に関する技術上の基準に、標識、AND 回路制御機能及び緊急停止装置に関する事項が追加されたことを踏まえ、「消防用設備等試験結果報告書の様式」に、これらの試験結果の記載欄を追加する。

【施行期日】令和5年4月1日

別紙 3

〇消防庁告示第一号

消 防 平 用 成 設 +備 六 等 年 又 消 は 防 特 庁 殊 告 消 示 防 第 用 九 設 号 備 消 等 \mathcal{O} 防 種 法 類 施 及 行 び 規 点 則 検 第三十一 内 容 に 応 条 じ \mathcal{O} 7 六 行 第一 う 点 項 検 及 \mathcal{O} び 期 第三 間 項 点 \mathcal{O} 検 規 \mathcal{O} 定 方 12 法 並 基 づ び < に

設 備 等 \mathcal{O} 点 検 \mathcal{O} 基 準 及 び 消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書 に 添 付 す る点 検 票 \mathcal{O} 様 式 \mathcal{O} 部 を 次 0) ょ う に

改正する。

点

検

 \mathcal{O}

結

果

に

0

1

7

 \mathcal{O}

報

告

書

 \mathcal{O}

様

式

第

兀

 \mathcal{O}

規

定

に

基づ

き、

昭

和

五

+

年

消

防

庁

告

示

第

+

兀

号

消

防

用

令和五年一月二十三日

消防庁長官 前田 一浩

次 \mathcal{O} 表 に ょ り、 改 正 前 欄 に 掲 げ る 規 定 \mathcal{O} 破 線 で 井 λ だ 部 分をこれ に 対 応す る 改 正 後 欄 に 掲 げ る 規 定

 \mathcal{O}

破

線

で

井

 λ

だ

部

分

 \bigcirc

よう

に

改

 \Diamond

る。

1

Participation
(その1) (次
株式第6 株式第6 株式第6 株式第6 株式第6 在

体 表 示 機 能 機 能 機 能	株	8	謔	186	Á	30	Š:	窜	ŝ	85 3	k 1	8 3	1	Ī	6	圃	供货	地域		561 5	ž.	岡	ě.	袱	-	专		西		57 19		蘊	家	苗		华	1/6	古	邂	8
体 表 示 機 能 機 能 機 能	外 形 機	围	XX			掖	誻	表	継	רד		雷	表	李	西	神	埘	*	颒					両	装	f W	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	t 2	4)	學	₩		Ŧ	不够		噩			*	
東用 東用 V V A A	専用 兼用 V V V V V V V V V	用首	⊒	・手動	至		薬	겎	畾		器・ス	圧				世	崰		争			自動·	火災	護		放出用·非常例	音響警報起	瀕	拔	30.0	囲	e.	· 译	¥ ∓		狱			体	
叢		報装	1 %	替機	74.1			均	器		ッチ	4	걔	悉		,,,,,		悉	採	制御機能	划替表示灯	動切替装置	知装置			卓止用スイッチ		쉬	示	2000	状	識			ガス圧式	政				
					秒					A		V																												
													,																											

備考 1

選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。 措置内容欄には、点檢の際措置した内容を記入すること。

判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

	謔		<u> </u>			自					世			暉	拼换	妙		-	剛		絣		便		西		2		Ħ		半	, 7	Ħ	幽	
動作	放	自動	Äá	皳	酷	表	業	K	開	画	裁	*	픨	事	坤	*	式 置	型機関	自動	1	聞	拼装	季 高	# 2	# \$	1 4	ł	7	不够	85 - 15	悪			H	
制御盤用音響警報装置	出世	助・手動	至		鍱	亦	圖	ц 1	閉器・ス	王			囲の	声	嚩				火災感	保 護	卅	放出用·非常	音響警報起動用スイ	電源	表	操	周囲	F	·		放 装 置			体	
事警報装	御機	切替機	辦	144	按			X	イッチ			~	芣	疄	嫩	200	自動·手動切替表示灯	自動・手動切替装置	知 装	カバ・	京	放出用・非常停止用スイッチ	動用スイッチ	表示:	NI.	作	の状	蒸	*	ガス圧式	倉汊	×	機	表	外
軍	需	語	剛	书	湾	芍	器	類	漜	<u> </u>	쇄	悉	光	戡	典	悉	芍		睴	1	力	4	F	竹	싓!	維	党	需	悉	7	共	悉	需	引	悉
																			専用																
			砂					Α		V									兼用																
						6 3								S. 53		s. 30												6 3							

- 3 -

	龠		307	1												W ₀	'aL (多	200	回回	7 84	5						.	~ 1		227	hite		Final Control				122	
	着	雪	表示	4	縣	K		. 2	#	(性	「旗	⊁)	海源		#	置る	事を	降接投	宋	e	数区分	防部	囲	N	癜	罗	質別		放	H	消	摋	配管	華	П	够	西	記榜	
2 2 4 10			拉	1)	兴	상	夲	噩	쏾	光	即	誰	表	冬	F	Įį.	描	安	-	和	爽	岡	の配置金銭	開口開	×	>		Œ	5	火	岡	の安	3	=	XH	管	別記様式第	
種別・谷庫等の内3 判定欄は、正常の均 選択肢のある欄は、 措置内容欄には、 点	上の用	癜	・	X		1			囲							洋		韓	2	拔	消			即接	響	画	7,			1	===	#	1	F	7	持金		6	
関	の用紙の大き		票職	11		К				鍱	刪	替	4			2-0		警報装置		Œ	火	压	ガス日	電気	*		放	7	表	早日		扱	按	7	1	平			
寺正るにの御棚は	大章	推	~	開	K	IJ	1	绝	9			1/44				道	ü		8	贵	削排		112	で作動す		変	身			г Т	#		(4)	蒸	*		管		
	はない		移動	閉		ſ			芣	掖	淮	辩	画			鏥	音声	神響	44	爿	Œ	館	ス圧で作動する			浬	寧		ᆡ	出 措	田苗	畞	滋	***	7	0	継		
※でである。 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	華 本田	=b	步式)	,		43	es.	-Mc	==	===	-	Ni	Ŧ	*	響	擲	ŧ,	5000	推	NIII		8	Ŧ	alik.	-107	Ŧ	*	250	2500	*		-mb	Ŧ	金」	sin		
おりませる。	を開い	画	$\overline{}$	弁	7	7	K	確	光	湾	剛	페	H	쉐	悉	数	燕	燕	悉	芍	岡	囲	8	9	悉	樂	珊	悉	芍	剛	岡	极	阿	需	*	具	#		

不活性ガス消火設備 (その3)

備考 1 2	耐	表示	4	4	K	_	ڊ حد			乙模	r	通過			置る		解接を女	e e	2 3	数分分		画画	N N	護見	1 50	X2	A PARTIES
	癜	卢	X)	计	头	格	皿	쏾	充	EFF.	誻	表	4	百	Ē	描繪	按	按	4 消	费	門	の田町関鉄銭	出出	X	-	1
用紙の		標 鞿	7		, K		als.	囲	錄	픥	蓉	4			神		警報装置		Ή	1 火剤	河			*	画	放	
この用紙の大きさは、日z種別・容量等の内容欄は、	描	(珊	X	Ų	1	約	の状	接	狱	辮	画			(銘	音列	埘	¥	贵	排出	館	ガス圧で作動する	電気で作動する		変更	射!	
	置	動式	開弁	1/	1/	K	箱	大池	続	闘	圃	H	작·	悉	极	声警報	響警報	悉	示 灯	措置	囲	\$350	1290	悉	等	障 害	
日本産業規格A4とすること。 は、該当するものについて記入するこ																											
4とする																											
ること。						m						<															
くすること																											
17																											

措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

大学会具・つり会具 (学) 安 全 装 置 (学) 安 安 安	大学会具・つり会具 日間 安
 次 金 装 置	会具 上 分 会具 上 子 会具 安 接 拼 田 措 置 表 初 折 表 示 折 置 表 所 折 大 外 瞬 害 表 所 折 应 範 更 等 来 形 外 所 出 措置 上 者 置 人 海 排 出 措置 上 表 示 折 人 海 排 出 措置 上 表 示 折 人 海 排 出 措置 上 表 示 折 大 海 排 出 措置 上 表 示 折 上 表 新 題 表 表 題
	の の の の の の の の の の の の の の の の の の の

別記様式第6

下活性ガス消火設備(その4)

长 1 薮 局所放出方式 全域放出方式 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 Y, 嘂 ス・ホース接続部 拔 嶼 配管·配管接続部 配管·配管接続部 油 起動装置・選択弁 巙 起動装置・選択弁 開口部の自動閉鎖装置等 7 1 Œ 共 至 機 開 型 表 辦 辩 辮 300 쉐 共 苎 华 圃 剛 校正年月日 圃 総 製造者名 世 河 蒸 器 衠 1 型 共 校正年月日 製造者名

龕

移動式

全域放出方式。局所放出方式

測定機器

茶

種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

| H近欄||、正常の場合は○日、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 | 選択肢のある欄は、談当事項に○日を付すこと。 | 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

銟	痰	定	進	抗	畲	对	移動	共	A F	放B	同所		方式	田	域故	$\forall \forall$	
			機			\ 1	~	方式	枚田·	局所	Ж	<i>₹</i>	Œ	汝	英	₩	
			器			×	X	門	陆	嫐	按	門	旭	噩	滿	嫐	
			25			}	7	鸣	動装置	機	Œ	職	起動装置	開口部の自動閉鎖装置等	延	整	
			型			K	7	配管			炭	配管		自動開		*****	
			共			菝	3	接続	選択	辮	쉐	接続部	選択弁	鎖装置	辦	拼	
			校正年月日			典	弁	專	弁	圃	芍	哥	弁	等	間	岡	TO!
			製造者名												秒		П 7
			機														1
			器名														199.
			型														
			共														
			校正年月日														
			製造者名														

																					推	
																					番号 容器番号	
																			(4.67	(kg)	全質量	腰
						- 3-3-3		000 100	 										ő	(kg)	空質量	比灰素
-																			(m)	(kg)	全質量 空質量消火剤量消火剤量 充てん	酸化灰素の場合
																			ĺ	(m³)	消火剤量	その他の消火剤
						107 104	A Bodice	enda stor	mor sonin				ap. 8 Sjo ja 8						(iiii si)	(20°C)	カイル モナ	り消火剤
		(2)		, ,			N 9			i. 30								2	点検時の消火剤量	°C	月日日	
		8		. 6			D										1-	0 -			,,,	
	-						a .		ř.								2.5	0	(kg) ⋾	റ്	中田田	H /K U
																			又は容器内圧	റ്	月日	忌候年月日及び容器表面温度
	6.0			12 6			0 0	2	F-						ia 68	38			7	11	2	奥
																			(MPa)	റ്	年月日	

反素 の場合 その他の消火剤 変質量消火剤量 売てん (kg) (m ³) (MPa) (APa) 点検時の	 一酸化炭素の場合 その他の消火剤 全質量消火剤量消火剤量 充てル	 一酸化炭素の場合 その他の消火剤 点策年月日 全質量 空質量消火剤量 充てん 日 圧力 で (kg) (kg) (kg) (m³) (M²a) 点検時の消火剤量 (a) 																		号号	
一酸化尿素の場合 その他の消炎剤全質量溶炎質量消炎剤量消炎剤量 充て心 圧力 (kg) (kg) (kg) (m³) (MPa) 点検時の	 一酸化炭素の場合 その他の消火剤 全質量消火剤量消火剤量 充てル	二酸化炭素の場合 その他の消火剤 全質量 空質量消火剤量 充てル (kg) (kg) (kg) (m³) (MPa) 点検時の																		容器器号	
清大剤	消火剤	消火剤 おてん (20°C) (MPa) 点検時の																ç			
清大剤	消火剤	清大剤						19.89			8							Ġ	(kg)	空質量	灰素
清大剤	消火剤	消火剤																ç	(kg)	消火剤量	3
指でん (20°C) (MPa) 点検時の	清でん (20°C) (MPa) 点検時の	指でん (20°C) (MPa) 点検時の				Q :		200	30			C.	9						(m³)	消火剤量	その街の
対験時の近代のコールを	原策年月日及 年 年 月 月 月 日 日 七 で で で で で で (Kg)	点標年月日及UP等語表面温 年 年 年 月 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日																21	(20°C) (MPa)	が とと形 とと用	り消火剤
	東半月 日 次 (A) 量 (kg) C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	東半月 1 次 () 谷 裕 表面 iii																			

附

則

この告示は、 令和五年四月一日から施行する。

別紙 4

〇消防庁告示第二号

年 消 消 防 防 庁 法 告 施 示 行 第 規 几 則 号 昭 消 和三十六 防 用 設 備 年自 等 試 治省令第六号) 験 結 果 報告 書 \mathcal{O} 第三十一条 様 式 0 の 三 部 を 第 五 次 \mathcal{O} 項 よう \bigcirc ĺ 規 改 定に基づき、 正 する。 平. · 成 元

令和五年一月二十三日

消防庁長官 前田 一浩

次 0 表 に ょ り、 改 正 前 欄 に 掲 げ る 規 定 の破線 で囲 んだ部分をこれ に対 応する 改 正 後 欄 に 掲 げ る 規定

の破線で囲んだ部分のように改める。

X	界				3	毕				麁				,	Ż		方式	放出	場所	設置					
	海火	能 古 *			起 動 用ガス容器	t t				华	貯蔵容器				貯	践	移動式	固定式		設置階					
DXX fur		RX EL 20171 寸	· 科别斯斯特	138	推	設置				蘇			BX EL 20171 4*	英州田黒 館	藏消	霽		全域放出方式		防					
構	導管接	歩	設置	俗	構	嫱	安全装	容器弁	裕	光て	表	貯 蔵	表示	設置	*	展		式 局所放出方式							不活性
	汽		葹	報	祖	州	置·破壊	開放装	器	~ 比		谷	- 標	遊	单	ш		出方式		举	果	偣	試験実施者		ガス消火
岩	华	싓	开	件	華	华	板	圃	件	華	쉬	器	鎭	严	華					樂	74	严	世		京設備
1	Ī				1			1		1	1				種別	種別・容量	設計放出時間	設計放出時間		交				試験実施日	不活性ガス消火設備試験結果報告書
	1						1			j	1				声	量等の内容				9				年	
															kg	74	5792			種				月 一	
																結果	sec	sec		89				Ш	

羰					異				•	館					*		方式	故田	場所	設置					
	进业开	苦			起 動 用ガス容器	t A				華	貯蔵容器				貯 蔵	巽	移動式	固定式		設置階					
旅館		BA EL 20071 4	新州群盟 標	200	整	設 置				推			BX 157,000,147	本地型開始	11	癜		全域放出方式		防					
養	導 管 排	按	設置	俗	華	揚	安全装	容器弁	裕	光で	贵	貯 蔵	表示	設置	*	闽				飌					不
	接続部		場場	報	చ	所	全装置·破壊板	開放装	器	が、比		谷	・	掘	泊	ш		局所放出方式		举	果	住	試験実施者		性ガス消
裕	傘	쑀	野	华	华	華	数	圃	弁	华	븼	器	癜	所	华						₩	严	施者		No.
											1		1		種別	種 別·容	設計放出時間	設計放出時間		樂物				試驗実施日	不活性ガス消火設備試験結果報告書
													į		声	量等の				9					<u>-</u> j. 4
																内谷谷								年	
															kg	401				准				月	
															(rq	結果	sec	sec		別				Ш	

正前

改

改正後

- 2 -

-									-		쮖			異	į			舗			*												
			八円	5					5	進				D	费							剛	挨	便	哲						Ŕ	崩	
			門。軍・バルブ等	R					A A	世				古书次同	进		緩	剛		即起					3 苯	西野田	专	#					- oh
			雅.	15					Î	瑚	10			Î	H				薮		频		DXC.	*				製			Milk	**	理
	K	=		薬	門	門			쵏			関		蒸		型	迎											設置場所等			表	焽	
	对上升	+ +		常					機器等					點					器		暉		100	相				华					癜
蘇	配管	裁	嬰	前	河	圃	自動	ឝ	图	表示	世	暉	構	声畫	瓣	圃	ন্ট	烫	構	#		X	表	助	逧	型	蝦	殸	弱	與		睴	
							· 他			示等		揚	部	声再			Ħ			動・	遊												闽
相	· 鬥		岡			2000	手動	河	繼	3.50		200		14	按	100000	11	NIC	٠,	III-		7	St.	籔		极	畲	岡	剛	岡		101051	
華			患	渐	张	芣	助切	狱	華	ア	甸	所	•	声再生装置の設置所	方	位	狱	知	档	動切替装	州	્	쉐	措	倒	贵	贵	画	位	揚		華	Ш
-01	線接続部		7	F			切替装	Air		シチ			帝	9	-1		403,000			整						Con	Cha	1		dia.			
书	兴	爿	퐈	华	器	況	画	圃	圃	獲	講	44	需	置所	共	圃	圃	嘂	鄉	圖	48	4	芍	阃	継	쉐	쉐	N4	岡	所	쑀	型	
																												未					
																												床面からの高					種
																												00					種別·容量
				1	l ,	l,	1				1			1	ı	1				1								高い	1				俗
8				3											Ì	ł							ı										量等
		1		- (1)	1	1	Į,		Ţ,	J	1		1	1	I	J	1	Ī	1	I		1	I	I	1	l.	16		1		1	1	単の
																																	K
																																	政
																												m					
1																																	淞
																																	結果

	- 27	配言・							- 4	2 4																				
		神が	Auto						Ξ	世				喇							E	l X								
									即落中似	音 并				警報装置			国		動起	- 2		100		※ 業	也 動	便	#			理
			2	i					1 3	組		i		9				嬴		型		200	*				設置場所等			
		盟上华		操	曹	門			機器等			與		蒸		野											場所			颗
	_	华		宇								圃		翻				北		岡		10	le le							/my
藻		表	製	哪	啷	圃	自動	ឝ	野	表示	世	lmb	梅	音場	巙	睴	感	華	無		K	表	72	釡	取	嬰	蝦	罚	쀓	頂
=>=			丽相					延	湿料	华		施	档	再/	趉					迪	7		(E)		巷	全	100	100	THE STATE OF	ДШҚ
4/1	鬥		,-14	海	洲	关		im	MILE	К	窜			批	Xdu	位	敓	描		2771		爿	NOTE:	甶	7	mit	,	,	,—µ	
薄	接		掘	72.031	1000000		切替	淮	莊	23.0		型	査	間の	方	100			切替	严	હ		菲		表	栽	画	贷	遊	Ш
25	游 台 、	الخ	TEI.		96	44		===	THE ST	4	協	4137		嬰	н	THE	ĎΩ	467	狱	नान	\1	*	===	নাক	Δlı	الا	0.6	===	त्या	
Int	7 70	N,	-11	יעד	пус	C-L	рица	g-up)a	ж	Pive	44	BB	-T 1940	CF	рмр	±Nn	नाम	juniu	শন	ъ	_	lmin	-লান্দ্র	N,	711	in)-p	-11	_
																											Æ			種
																											面か			
																											50			別・容
L		1		1	ı,	Ţ.	Ŷ	ř	ř	7	1		1	1	ř	7		7	- I		Ŷ.	7	ř	ř	ř	-	恒少	i i		
							ı								1				1											胂
1	1	1		1	1	1	ı	l	1		1		1	J	1		1	1	1		J	1	1	1	I	1		1		華
																														9
																														K
																											В			谷
																														結果
	命仰	管・配線器	管·配線接続器 構	管·配線接続 構	章 · 配線接続 籍 · 群	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	等	少·手助切替装	海·手馬切替装 海·手馬切替装 大 大 米 米 海 ・ 海 ・ 海 ・ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	選 描 選 描	宗等・スイッチ 護 措 護 措 施 美 動・手動切替装 動・手動切替装 近 共 管 ・配線接続 器 編 籍	海	場 弾	造・性 場 所	古再生装置の設造・ 性 場 所	警 報 方 式 —— 6 声再生装置の設置 —— 排 造 · 性 能 —— 据	置 位 置 書 力 式 書 近 生 二 書 近 生 記 書 近 生 元 表 計 四 二 上 力 二 二 上 力 二 二 日 大 力 二 日 上 弁 二 日 上 弁 二 日 上 子 二 日 日 上 子 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日<	感 知 知 器 簡 位 置	株 造 等 e 知 器 e 女 四 e 女 所 要 女 要 女 要 基 要	手動・自動切替装置 機 造 等 機 力 式 整 報 力 式 整 報 力 式 整 章	場 所等 手動・自動切替装置 株 造 等 感 知 器 医 位 置 一	大 イ ッ チ 場 所 等 書助・自動切替装置 書 造 等 書	表 示 灯 A イ ッ チ 場 所 等 書 造 等 書 造 等 監 位 置 監 報 方 式 事 造 ・ 性 能 場 所 等 場 所 等 樹 御 盤 表示等・スイッチ類 あ 所 等 皮 選 措 置 あ 所 等 あ 所 等 あ 所 等 あ 所 等 あ 所 等 あ 所 等 あ 所 等 あ 所 発 置 か	抜 示 灯 スイッチ 一	飲 色 等 枝 示 灯 人 イッチ	数	改 接 表 示	職 表 示 飯 表 示 色 表 示 色 袋 持 置 元 ケ ケ 石 シ チ 毎 動切替装置 毎 方 第 塩 方 財 毎 方 第 塩 方 財 毎 方 第 塩 方 財 毎 方 第 塩 方 財 カ 所 等 海 発	置 位 置	置 場 所 置

不活性ガス消火設備 武 場	御			配
売売・ ガ・メ 森	中 韓 発 留	・ 使 用 数	and the	質等
	安全	装置	100	华
	型	置位		闡
	構造	• 性	- mark	龍
	防	製図		画
- 13	開口部の	の自動閉鎖装		圖
	消火剤を付加す	け加する開口部面	-1	撤
観	消火剤	流出防止措		圃
防護区画	開口	部の位		闁
*	消火	剤 排 出 措		剛
	圧 力	上 昇 措		岡
冥	防護区画に	消火剂排出措		岡
	隣接する部分の保安措	放出表示		圴
	剛	警報装		剛
23	部	用電		黨
	非語	電源の種		118
**	設	置位	mark .	岡
ノズブ・	藩	·		語
	大水小	灯· 標		爨
耐	震	措		剛
	防	国		画
		AND回路制御機能作動状況		光況
暴	3	遅 延 時		聞
-		緊急停止装置作動状况		松泥
	》 一 世 御 装 置	音響警報先行作動狀況		找況
平町民製		自動・手動切替作動状況		大況
3	2 3	短絡		試験
都	9 9	号試験 地絡試		霽
	音響警報	起動装置による作動状況		状况
	装置試験	警報鳴動状		況

武	驗	頂	П		種別・容量等の内容	結果
	安 全	拼	圃	傘		
噴射へツ	现	圃	位	睴		
な	藩	•	至	需		
	跡	選	X	圃		
	開口部	の自動	閉鎖装	腘		
*	消火剤を付加す	N	開口部面	淮		
	消火剂	流出防	5 止 措	岡		
	開口	部の	位	睴		
親等	消火	剂排	田猫	腘		
	圧 力	上昇	華	睴		
T			消火剤排出措置	圃		
P.	接する部分の	放	出表示	芍		
	床女指直	뼳	報装	睴		
	海	用	曲	旗	V	
世	非常	電源	の種	別	自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備	無罪
8	設	圃	位	圃		
ナバス・	構 造		性	部	(
	表示	芍.	蕪	爨		
耐	珊	華		睴		
	防	護	N	圖		
		遅 延	專	噩		
機		非常停止	非常停止機構作動状況	137.		
	制御装置	音響警報.	音響警報先行作動状況	38		
能	武縣	自動・手動	手動切替作動状況	76.7		
作動試験	,	IIII	号 短絡試験	骤		
類			地絡試験	颗		
		対開業値は	こよる作動状況	状況		
験	音響響報	警報鳴	動 状	光		
	装置試験	革		胂		
_		菜醛霉 声音	装置作動状况	25	50	_

金地	举	龍	験		3	*				終			撰			界			需			蒸			
чαω4π						PA BY	総合作動				1						作動試験								巽
この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 選択肢のある欄は、該当する事項を〇印で囲むこと。 結果の欄には、良否を記入すること。 非常橋源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。			移動式		re-	方式	-	全域放出			040-400 (D10000-4-)	一世野沿溪一蔟武聚		保安措置武験	で解放。	防護区画	放出	連動試験	附属装置	消火	閉止	選択	容器弁		颗
は、日本産業、該当する場合を記入する。			移動式	附属装	放出表示灯	音響警報	区画别的	気 密	通気	選択弁作 放出系路	温度・	細	始 動	警報装品	作 動	消火剤	表示	復 旧 操	作 動	剤 排	弁 作	弁 作	開放装置	自動警	項
表現格 A 4 とは項を○印でらこと。のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのののののののののののののののののののののののののののののののの<l>ののののののの<td></td><td></td><td>作動状</td><td>置作動状況</td><td>灯点灯状况</td><td>響警報装置作動状况</td><td>画别貯蔵容器開放数</td><td>关</td><td>关</td><td>乍動状況</td><td>压力</td><td></td><td>关</td><td>置作動状</td><td>关</td><td>排出状</td><td>灯」就</td><td>操作 状</td><td>关</td><td>出對</td><td>動試</td><td>動試</td><td>置作動試験</td><td>報作動状況</td><td>Ш</td></l>			作動状	置作動状況	灯点灯状况	響警報装置作動状况	画别貯蔵容器開放数	关	关	乍動状況	压力		关	置作動状	关	排出状	灯」就	操作 状	关	出對	動試	動試	置作動試験	報作動状況	Ш
すること。 囲むこと。			72	况	22.	39.	数	況	光	•	値	湾	22	22	况	光	零	PS.	路	験	験	颗	骤	況	
こと。				5-1					37							×	S.	15 6	,	,	5	51 64		3	種別·容量等
											°C)														の内容
, d											MPa	A						2 2							結果

ļ______

この告示は、令和五年四月一日から施行する。